情報処理学会東北支部だより
第 216 号

発行責任者　牧野 正三 (支部長)
事務局　北形 元・岡 敏幸 (広報幹事)
〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1
東北大学電気通信研究所
Tel: 022-217-5455
Fax: 022-217-5411
email: ipsjkoho@shiratori.riec.tohoku.ac.jp

1 会告

1.1 研究会のご案内

1.1.1 平成 19 年度 研究会開催 (発表論文募集) のご案内 (於：岩手大学 2008/1/11 開催) (記事通番 07-04)

- 日時: 2008 年 1 月 11 日 (金) 10：00 ~ 17：00 (開催時間は予定)
- 会場: 岩手大学工学部一祐会館大会議室 (会議室は予定)
  〒020-8551　盛岡市上田４－ ３－ ５
- 発表申込方法:
  申込締切日までに，下記の内容を申込先まで電子メールにてお知らせ下さい．
  (1) 発表題目
  (2) 著者氏名と所属 (登壇者名の頭に○ 印)
  (3) 連絡先 (氏名，住所，電話・ＦＡＸ，メールアドレス)
  (4) 発表時の使用機材 (プロジェクタ・ＯＨＰ)
  (5) 懇親会 (発表終了後) の参加・不参加 (参加の場合，人数)
- 申込締切:　2007 年 12 月 19 日 (水)
- 申込先:
  氏名　藤本 忠博
  住所　〒020-8551　盛岡市上田４－ ３－ ５
  所属　岩手大学工学部情報システム工学科
  電話番号　019-621-6484

fujimoto@cis.iwate-u.ac.jp

- 備考:
  開催日当日，発表資料を持参して頂きますが，様式ならびに部数につきましては，別途，ご連絡を差し上げます．

1.1.2 平成 19 年度 研究会開催（発表論文募集）のご案内（於：日本大学 2008/1/26 開催）(記事通番 07-05)

- 日時: 2008 年 1 月 26 日（土）10：00 ~ 17：30（開催時間は予定）
- 会場: 日本大学工学部　会場は追ってお知らせ致します．
  〒963-8642　福島県郡山市田村町徳定字中河原 1
- 発表申込方法:
  下記内容を申込先までメールにてお知らせください．
  (1) 発表論文題目
  (2) 著者氏名（所属）　　（発表者に○ 印）
  (3) 情報処理学会への所属の有無，年齢
  (4) 連絡先氏名，住所，電話・ＦＡＸ番号，メールアドレス
  (5) 発表方法: ＯＨＰ，プロジェクタ

abe@cs.ce.nihon.ac.jp

- 備考:
  - 発表時間: 発表 20 分，質疑 10 分の予定です（申込件数によって若干の変動がありますのでご了承ください）.
  - 発表論文資料:
    (1) 当日，40 部持参してください．様式につきましては別途ご連絡を差し上げます．
    (2) 発表用機材としてプロジェクタを用意いたします．

(3) 電子版 (PDF ファイル) もご投稿お願いします．方法については，別途ご連絡を差し上げます．

– プログラム: 2008 年 1 月 16 日ご案内致します．
– 懇親会: 1 月 26 日 (土) 18:00 より懇親会を開催致しますので，是非ご参加をお願い致します．

1.1.3 平成 19 年度 研究会開催 (発表論文募集) のご案内 (於 : 東北学院大学 2008/2/15 開催) (記事通番 07-06)

- 日時: 2008 年 2 月 15 日 (金) 09:00 ~ 17:30
- 会場: 東北学院大学 教養学部 (泉キャンパス)
  〒981-3193　仙台市泉区天神沢二丁目 1-1
  (仙台市地下鉄 泉中央駅から徒歩 35 分，宮城交通バス 15 分)
  http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/
- 発表申込方法:
  下記内容を申込先まで E メールにてお知らせください．
  (1) 発表論文題目
  (2) 著者氏名 (所属)　発表者に○ 印を付けてください
  (3) 連絡先氏名，住所，電話・FAX 番号，E メールアドレス
  (4) 懇親会への出席予定人数

  ipsj-tohoku-2007@cs.tohoku-gakuin.ac.jp

  (5) 2 名
- 申込締切: 2008 年 1 月 18 日 (金)
- 申込先:
  氏名　杉浦　茂樹
  住所　〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目 1-1
  所属　東北学院大学教養学部情報科学科

ipsj-tohoku-2007@cs.tohoku-gakuin.ac.jp

- 備考:
  (1) 発表時間: 発表 20 分，質疑応答 10 分の予定です (発表件数により若干変動する場合がありますがご了承ください).
  (2) 発表方法: プロジェクタを用意します (PC はご持参ください).
  (3) 配布資料 (発表論文):

投稿くださ

絡を差し上

ください．

浦先生の連

miyu@cs.tohoku-gakuin.ac.jp) までお願いいたします．忙しいところよろしくお願いいたします．

1.2 研究講演会のご案内

1.2.1 第 333 回研究講演会開催のご案内 (記事通番 07-07)

- 日時: 平成１９年１２月２７日 (木) １３：３０ ~ １５：４０
- 場所: 秋田大学工学資源学部情報工学科１０１講義室

- 講師: 東北大学大学院教育情報学研究部　教授　渡部　信一　氏
- 演題: 日本の「わざ」をデジタルで伝える
- 概要: 伝統芸能や民俗芸能の「わざ」, そして職人の「わざ」. 日本の「わざ」は , 本当にデジタルで表現し伝えることができるのだろうか？最先端のテクノロジーを活用した「わざ」のデジタル化プロジェクトを紹介する．

- 講師: 東北大学大学院教育情報学研究部　准教授　中島　平　氏
- 演題: リモコンと映像記録を活用した学びの促進
- 概要: 本講演では , スタンフォード大学教授学習センターとの共同研究の成果として , 授業の撮影と振り返りによって効率的・効果的に授業を改善する方法を紹介す

る．具体的には，大学院授業での実例を通して，新任教員やティーチングアシスタントへの適用可能性を探るとともに，コミュニケーション力向上への応用方法を検討する．

2 報告

2.1 研究会開催報告

2.1.1 平成 19 年度 情報処理学会東北支部研究会 開催報告 (於：秋田大学 2007/12/3 開催) (記事通番 07-08)

- 開催期日: 平成 19 年 12 月 3 日 (月) 8:45 ~ 17:00
- 開催場所: 秋田大学地域共同研究センター 2 階 会議室 (〒010-8502 秋田市手形学園町 1 番 1 号)
- 発表件数: 18 件
- 発表時間: 25 分 (発表: 18 分，質疑応答: 7 分)

- セッション 1 (8:45 ~ 10:25)　座長: 横山洋之 (秋田大)
  (1) 60GHz 帯ミリ波無線における高信頼な Gbps 級高速フレーム伝送方式に関する検討
    ○ 浅利可菜子，行松健一，橋本仁 (秋田大)
  (2) IP/MPLS レイヤと光レイヤにおけるコストを考慮したネットワークトポロジ設計法の検討
    ○ 三浦康太，行松健一，橋本仁 (秋田大)
  (3) 広域圃場用水路における無線 LAN を活用した水位計測用ネットワーク構築法に関する検討
    ○ 吉田和仁，行松健一，橋本仁，内海富博 (秋田大)
  (4) A RESEARCH ON INTELLIGENT TRAFFIC SYSTEMS USING ZIGBEE & GPS TECHNOLOGIES
    ○ ラジイクバル，行松健一，橋本仁，内海富博 (秋田大)
- セッション 2 (10:30 ~ 12:10)　座長: 石沢千佳子 (秋田大)
  (5) ウィルスデータベース型と免疫型を組み合わせたネットワークセキュリティシステム
    ○ 野村俊一，河上肇 (秋田大)

(6) 動的電源電流を用いた遅延故障テスト方式に関する研究
○ 高橋潤，横山洋之，玉本英夫 (秋田大)

(7) VLSI における部分冗長化による耐故障設計手法の検討
○ 高橋真理央，横山洋之，玉本英夫 (秋田大)

(8) Web における履歴を用いた検索支援システムの検討
○ 寺尾修二，横山洋之，藤原克哉，玉本英夫 (秋田大)

- セッション 3 (12:45 ~ 14:50)　座長: 内海富博 (秋田大)

(9) Durand-Kerner 法による超高次代数方程式の並列解法
○ 長谷部優，廣田千明，小澤一文，中村真輔 (秋田県立大)

(10) 個人特有の顔の表情空間に着目した表情解析法の検討
○ 川邉恵一，石井雅樹，西田眞 (秋田大)

(11) 人物抽出における前処理としての位置推定に関する検討
○ 佐井高，西田眞，景山陽一 (秋田大)，大滝健太，白澤洋一 (株式会社アルファシステムズ)

(12) 口唇の動きに着目した発話区間推定に関する検討
○ 嵯峨竜一，西田眞，佐藤慶幸 (秋田大)

(13) ハイブリッド信号通信システムの開発
○ 堀和樹，高橋毅，西田眞 (秋田大)

- セッション 4 (14:55 ~ 17:00)　座長: 藤原克哉 (秋田大)

(14) 疎通プロトコルとネットワーク規模に依存するトラフィック特性に関する研究
○ 相河浩之，高橋秋典，五十嵐隆治 (秋田大)

(15) ネットワークシミュレータを用いた VoIP トラフィック特性の検討
○ 合田徹，高橋秋典，五十嵐隆治 (秋田大)，岩谷幸雄，木下哲 (東北大)，上田浩 (群馬大)，奈須野裕 (苫小牧高専)

(16) シミュレータ NS-2 を用いたスループット特性の研究
○ 斉藤楽，寺尾修二，五十嵐隆治，高橋秋典，玉本英夫 (秋田大)

(17) R/S Pox-Diagram の特徴とトラフィックパラメータに関する研究
○ 長谷川浩章，高橋秋典，五十嵐隆治 (秋田大)

(18) 複数時系列中類似セグメント探索 RDDS 法における距離と探索効率の関係
○ 杉山雅英 (会津大)

- 懇親会: 17:45 より秋田大学大学会館で開催
- 研究会参加者: 約 80 名
- 懇親会参加者: 約 20 名

- 報告者: 西田眞 (秋田大)

2.1.2　平成 19 年度 情報処理学会東北支部研究会 開催報告(於 : 八戸工業大学 2007/12/21 開催) (記事通番 07-09)

- 日時:　 平成 19 年 12 月 21 日 (金)
- 会場:　 八戸工大システム情報工学科 I 208 ゼミ室 (〒031-8051　青森県八戸市大字妙字大開 88-1)
- 発表件数:　 11 件
- 発表時間:　 発表 15 分　質疑応答 5 分

- セッション 1:　情報基礎 (12:50-14:10)　座長: 小坂谷壽一 (八戸工大)
  (1) のを変調に用いた秘匿通信
  清水能理, (八戸工大情報工学科)
  (2) 細粒度転送に基づく並列 VLSI の評価
  ○ 藤岡与周*，苫米地宣裕*，亀山充隆 + (*八戸工大情報工学科，+ 東北大学工学部)
  (3) 木質発電の開発
  ○ 栗原伸夫，伊藤渉，墨川一人，白山裕也 (八戸工大情報工学科)
  (4) 巡回問題を解く枝組み立て交叉 EAX(Edge Assembly Crossover) の C 言語による設計と評価
  高橋良英, (八戸工大情報工学科)
- セッション 2 :　マンマシンインターフェース・ＣＧ (14:30-15:50)　座長: 藤岡与周 (八戸工大)
  (5) 人間に優しい手話変換装置の研究
  ○ 岩田俊作 ，小坂谷壽一， (八戸工大大学院電気電子工学専攻)
  (6) 平面状物体の風による揺らぎの法
  ○ 児玉広幸，藤本忠博，原美オサマ, 千葉則茂　(岩手大学大学院工学研究科情報専攻)
  (7) 法による 3 次元形状復元の高品質化
  ○ 秋元健吾，藤本忠博，原美オサマ, 千葉則茂　(岩手大学大学院工学研究科情報専攻)
  (8) 加速度を用いた直感的な動作認識手法

○ 伊藤智也，小玉成人 (八戸工大情報工学科)

- セッション 3： 項目反応理論・マンマシンインターフェース (16:10-17:10)　座長: 苫米地宣裕 (八戸工大)
  (9) 項目反応理論による数学の基礎能力の推移分析
  尾崎康弘，○ 松坂知行, (八戸工大情報工学科)
  (10) 項目反応理論による e－ learning の配信制御
  ○ 佐々木大輔，松坂知行， (八戸工大大学院電気電子工学専攻)
  (11) まばたき言語認識
  ○ 古川勇樹，苫米地宣裕，(八戸工大大学院電気電子工学専攻)
- 参加者: 約 25 名
- 懇親会: 18:00 より，八戸市内「ポセイドン」
- 報告者: 苫米地宣裕 (八戸工大)

2.2 研究講演会開催報告

2.2.1 第 332 回研究講演会開催報告 (記事通番 07-10)

- 日時: 2007 年 12 月 3 日 (月) 16：20 ~ 17：50
- 場所: 東北大学大学院工学研究科
  電気・情報系 1 号館 4 階 451・453 会議室
- 講師: プラマニク　カデル博
- 演題: 変革の時代と ICT 分野の国際貢献 ~ 国際協力によるデジタルデバイドの解消 ~
- 概要:
  1954 年，国際協力の第一歩として，途上国への技術協力のために国際協力組織「コロンボプラン」が発足した．国際協力開始以来 50 余年，この間各方面での技術も援助方法も変わってきた．当初は海外の研修生を国内の研修機関，メーカーなどでの訓練 (技術支援) が主な事業であったが，その後，海外援助，国際協力へと時代とともに名前も大きくなり，それにあわせて内容も大規模になってきた．最近は多くの技術協力プロジェクトで ICT 人材育成が重要課題と認識されており，大学やその他の教育機関へも委託されるようになった．今回プラマニク氏は変わり行く国際地域社会と経済情勢を踏まえ，自身の途上国への技術協力推進 (ITU)，南太平洋大学情報通信強化プロジェクト (JICA)，太平洋島嶼国人材育成プロジェクト支

援 (APT) の経験を紹介しながら，途上国の ICT 人材教育分野でのこれからの国際貢献に関する課題を紹介する．日本に近い地域であるアジア太平洋諸国への人材育成 (HRD), ICT の積極的な活用による支援活動の効率化，支援，取り組み，資金援助受託に関する国際協力の課題と対策方法を提案する．これからの国際貢献事業の進展を踏まえ，東北大学の上記分野での新たな取り組み方法を提言する．

- 講演報告:
  講演者自身の長年に渡る国際貢献の経験から，支援を受ける国々の現状や，何が必要なのか ,また東北大学に何が望まれるのか ,といった事についての講演があった．まずは，南太平洋地域の国々へ行われた支援事業の詳細について説明があった．そこから，支援を受ける国々の現状と，実際求められている支援の内容，また，支援の難しさなどについて説明があった．最後に今までの経験をふまえ，東北大学にどのような支援をして欲しいか，どのような支援が望まれているのか，といった提言があった．普段あまり接しないような大変興味深い講演内容であったため，質疑も活発に行われ，大変意義深い講演会となった．
- 参加者: 約 20 名
- 報告者: 鈴木基之 (東北大学大学院 工学研究科)

3　東北支部カレンダー

デジタル支部だより発行予定

217 号 (2008 年 1 月末日発行予定)

218 号 (2007 年 3 月末日発行予定)